

地域での信頼確立に向けた取り組み [高齢]

# 地域密着型施設としての地域との共生への取り組み

地域密着型の施設として開所以来、地域の中でどの様に関わっていったら良いかを日々模索してきた。地域に密着した施設であるためにも、まず地域活動へ参加し、周知していただく様にと考え取り組みを開始した。近隣サポート・神社清掃・地域防犯活動への参加等を通して、地域住民・ご利用者・職員の意識に変化が生じている。

京都府

社会福祉法人

みねやま福祉会

〒627-0003 京都府京丹後市峰山町内記416 (はごろも苑ないきの家)  
TEL : 0772-62-8018 FAX : 0772-62-8128

## ○法人設立年／昭和27年

## ○法人実施事業

①経営施設数合計：12施設  
②経営施設・事業【種別毎の数】：  
乳児院…1、児童養護施設…1、保育所…2、障害児通園施設（児童デイサービス事業）…2、精神障害者地域生活支援センター…1、特別養護老人ホーム…2、老人短期入所事業…2、老人デイサービス事業…2、在宅介護支援センター…1、老人居宅介護等事業…2、居宅介護支援事業…2箇所、訪問入浴介護事業…1、身体障害者居宅介護等事業…1、児童居宅介護等事業…1、知的障害者居宅介護等事業…1、認知症対応型老人共同生活援助事業…2、小規模多機能型居宅介護事業…1、子育て短期支援事業…2

## ○法人の理念・経営方針

<理念>  
・創設の理念を尊重し より質の高い福祉サービスの提供  
・地域の人々の ところ豊かで安心・安全な暮らしへの貢献  
・誇りと夢を持ち 福祉の仕事にまい進できるような職員の幸福追求  
<サービスの質（品質方針）>  
・私達はサービス提供のすべての場面で「管理より生活を」大切にします  
・常に正しい情報の把握と提供に努め 自分が受けたサービスの提供・改善に努めます

## ○取り組みの法人での位置づけ等

事業所の年度計画に『地域貢献』活動として位置づけている。

### ○取り組みを実施している施設の概要

【施設名】  
はごろも苑ないきの家  
【施設種別及び利用定員】  
小規模多機能型居宅介護事業所 25名

### ○活動内容

◇活動開始年：平成19年4月  
◇活動の対象者：  
地域住民・利用者・同法人内幼児寮の子供達  
◇活動の頻度・時間：  
随時、活動内容により、30分～2時間

## 活動実施の背景、実施にいたった理由

地域密着型の施設として開所以来、地域の中でどのように関わっていったら良いかを日々模索してきた。近隣の方から畑で採れた作物をいただくので、御寿司を作った時にはお返しにと日々のお礼方々食べていただく。顔見知りの方の利用時に、話に来ていただく等、気軽に地域の方々が来ていただける家となる様に考えていたが、「あそこはみんな、お金を払って行っとなるで、おば～さんは、行ったらあかんと、若いもんには怒られる。」と、最近は殆ど来られなくなった。出会った時「お話に来てくださいね」と声をかけるが、「息子に見つかったら叱られる」と返事が返ってくる。地域に密着した施設であるためにも、まず地域活動へ参加し、周知していただくように考えた。

## 実施内容

### ①近隣サポート

家人の急用時、当施設での短時間の見守りや、通院前後の移動介助のサポートしている。

### ②地蔵盆

8月23日の地蔵盆には、ご利用者の方と一緒にお供え物を持参し、お参りをしている。

### ③神社清掃

秋祭りの前には神社境内の清掃があり、ご利用者の方と参加している。

### ④芋掘り

近隣の方のご厚意にて畑をお借りし、サツマ芋を植えている。10月の中頃には、当日の通いご利用の方がほぼ全員参加して芋掘りを行った。去年は、さつま芋畑を提供してくださる方がおられ、同法人内幼児寮の子供達と一緒に芋掘りを行った。

### ⑤近隣保育所児童との交流

地区公民館にて行われる保育所児童との交流会に参加している。

## ⑥地域防犯活動への参加

防犯パトロールのステッカーを貼布した車両にて、送迎時・訪問時、町内パトロールを実施している。

## ⑦ボランティア事業の窓口

市社協が主催するボランティア事業の受入施設登録及び活動受入の調整を担っている。



## 活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

近隣サポートでは、いつでも気軽に依頼をしてもらえそうな関係作りができてきた。まだ地域住民の出入りは少ないが、野菜等のいただきものが増え、地域住民の意識が変化してきたのではないと思われる。神社清掃では、参加ご利用者より「この地区の方々と話ができたとし、仲良くなれてよかった。」との声が聞かれた。地域の方々との共同作業により、地域住民との距離が短くなったと思われる。ボランティア事業の受け入れによって、納涼祭等のボランティア参加者が増えつつある。地域の防犯活動では、職員の防犯意識の向上が見られた。



## 今後の課題及び展開

更に地域に出て行くために、納涼祭スタッフへの参加や、子供110番等、職員間でアイデアを出し合い、施設は閉ざされていないかと常に反省をしながら、地域の中の施設として取り組んでいきたい。職員については、新しいスタッフの育成が一番大きな課題となっている。



## 主な経費や財源及び人員等

(年間あたり)

主な経費	経費概算額	主な財源	財源概算額
防犯ステッカー	4,700円	施設負担額	6,700円
地藏盆お供え	2,000円		円
<合計>	6,700円	<合計>	6,700円

・取り組みに係わった職員数 14名  
(職種等：介護士・看護師)